

議長（前原英石君） 5番 山崎知信君。

5番（山崎知信君） おはようございます。

私は、2点の質問をいたします。よろしく申し上げます。

まず、1点目は環境整備計画についてでございます。

村長は、9月の提案理由説明で、南部地区の経済環境が大きく変化することが予想されるとし、南部地区の開発を含めた村全体の活性化を図る指針として策定すると述べ、県内外のコンサルタントやシンクタンクを対象に業務委託をし、村全体の将来像や南部地区の将来像、整備の方向性などの施策をまとめとしています。

南部地区や隣接地で開発している業者を交えたワークショップの実施、そのメンバーが構成され、1回目の会合が開かれ、1時間程度の単なるヒアリングだと聞いております。

さて、射水市は、昨年に新湊大橋が完成し、アウトレットモールの誘致を打ち出したのは、広域から射水に人を呼び込める施設が欲しいとのことで、夏野市長は、射水市長就任以来、強い願望を持っていましたが、結果的には小矢部市に進出が決まりました。

その小矢部市ですが、桜井市長は、150店舗規模と発表されたアウトレットモールの店舗数について、当初の見込みを大幅に上回る規模と評価した上で、需要の掘り起こしを狙う国内外の有力テナントの関心が高いと背景を説明し、千人を超える雇用に期待しております。

また、多くの雇用を創出するコストコも同じで、まず射水に人が来てもらうことになげたいとのことでした。

これからの時代、地域活力の源泉となる定住人口が大幅に減る中で、少子化と高齢化に対する難しいかじ取りが求められています。高齢者支援策も、予算が少なくとも満足度が高いソフト施策が一層重要になると思います。

村長は、あるべき姿について検討し、今年度までにまとめるとのことでしたが、現在どこまで進行しているのか伺います。

次に、2点目でございます。東芦原舟橋駅線の村道整備（拡張）についてでございます。

いわゆる保育所からオレンジパーク公園の路線であります。私は何年か前に、この路線について質問をしたことがあります。東芦原団地、きらめき団地さんの方々も地区の要望事項として掲げていたと思います。

例えば、保護者が子どもを送迎する際、路肩に落ちてレッカーを頼んでいることが数件ありました。また、老人車を押して駅のほうへ行こうと思っても、砂利道で思うようにいかないのが現状でございます。

そのときの村の要望事項の答弁では、なかなか地権者の理解が得られないとのことでしたが、その地権者の方も、舟橋駅前のところも一緒ですが、舟橋駅前の路線も30年ぶりに地権者の理解をいただき、拡張することになりました。

この東芦原舟橋駅線も地権者にご理解が得られるかと思いますので、集落で検討してみたいかがでしょうか。

村長、村道である路線だけが砂利道なのです。そこで、村長に伺います。

以上でございます。

議長（前原英石君） 副村長 古越邦男君。

副村長（古越邦男君） 5番山崎議員さんの環境総合整備計画のご質問につきましては、私からお答えをさせていただきたいと思えます。

この計画は、現在、富山大学地域連携推進機構地域づくり・文化支援部門のご協力を得まして取り組みをしております村人口問題プロジェクト、村健康構想プロジェクトと連携しながら進めております。人口問題プロジェクトは、村の将来ビジョンを描き、その実現に向け必要機能を明確にするものであり、村環境総合整備計画は、人口問題プロジェクトが村の将来に向けこんな取り組みが望ましいと示す事柄も含めまして、村全体の振興策を具体的に描く計画としております。

さて、環境総合整備計画策定に向けました南部地区周辺開発計画検討委員会は、新聞報道されましたとおり、地元自治会や地権者等の方々、8名の方を委員に委嘱しまして、去る10月29日に開催しております。

委員の皆様からは、村の立地条件を考えると、もっと利便性の向上や潜在的価値の発展につながるはずであると。健康で安らぎのある住環境の創造をしてほしい。開発事業地域振興につながる助成策や計画的な人口増加対策、そして地域コミュニティの醸成、村のポテンシャル・魅力を高めるランドデザインの必要性等、貴重なご意見をたくさんいただいております。今月18日には、民間の事業者の皆さんとの意見交換も予定しているところでございます。

また、民間シンクタンクからは、この地区を公共性の観点、「市場性 - 非市場性」「基礎的 - 選択的」という2軸での考察も示されると聞いております。専門家サイドの分析

結果にも期待したいと思っております。

一方、人口問題プロジェクトの進捗は、舟橋村のこれまでの人口増加要因、今後の人口推移分析及び将来ビジョンの設定までを終えまして、夢のある将来ビジョンを描くための施策提案並びに必要な機能について検討中と報告を受けております。

以上、取り組み状況をご説明申し上げましたが、スケジュール的にはほぼ当初計画に沿って進めてきておりますが、現時点では、関係します皆様方のご意見が全て集まっておりません。具体的な内容をご説明できるまでには、いましばらく時間がかかるものと思っております。

今後の予定を申し上げますと、開発検討委員会のご意見、18日の意見交換会での内容、専門家の報告等も整理をいたしまして、来春2月には第2回目の開発計画検討会を開催いたしまして、南部地区も含めた全体計画の素案を示しまして方向性を決めていきたいと思っております。

10月には、立山町利田地区の大型商業施設がオープンし、主要地方道富山立山魚津線の4車線化も進められ、新たな人の流れが生まれつつある中、隣接する村の南部地域も輝きのある計画になりますよう、今後とも皆様方のご理解をお願いいたしまして答弁とさせていただきます。

以上でございます。

議長（前原英石君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 5番山崎議員さんの、村道東芦原舟橋駅線の整備についてのご質問にお答えしたいと思います。

村道東芦原舟橋駅線は、東芦原から舟橋駅までのアクセス道路といたしまして、昭和52年に村道に認定をいたしております。その後、村道海老江東芦原線を、昭和57年に村道認定を行い、東芦原から舟橋駅までのアクセスを、東芦原団地との交差点からオレンジロードを経て、舟橋駅へとシフトしております。

これは、村道東芦原舟橋駅線の村道認定当時は車の交通量も少ないことから幅員の狭い規格道路でありましたけれども、昭和57年に認定いたしました村道海老江東芦原線は幅員13メートルと車、歩行者が共有できる道路幅員を確保しておりまして、交通量の増加に合わせた、交通安全に配慮した規格道路となっております。

議員のご指摘の、保育所から京坪川河川公園までの道路を改良するという事は、単に保育所までの児童送迎の環境をよくするだけではなく、京坪川河川公園から舟橋駅周

辺までのアクセスをよくするということにつながると思っております。

しかしながら、ご存じのとおり、沿線には保育所と小学校があるわけでありまして、村道稲荷学校線との交差点を横断することになりますと、通学路への車の誘導にもつながってまいります。

こういったことから、東芦原から舟橋駅に至る車の主要通路は、あくまでもオレンジロード経由であると私は思っておるわけでありまして、ご理解いただきたいと思っております。

しかしながら、先ほど議員からご指摘がありましたとおり、村道東芦原舟橋駅線の現状は安全な道路とは言いがたい状況でありますので、アスファルト舗装の施工等を含めまして十分検討してまいりたいと、このように考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます、私の答弁とさせていただきます。

議長（前原英石君） 山崎知信君。

5番（山崎知信君） 先ほど副村長の答弁では、いろんな方々を交えてワークショップを開催して、来年の3月までにまとめたいということでしたが、まず私が感じたことは、まとめてから一体何年かかるんかと。今まで何しておったんかと。かまてのほうには空き地もたくさん、遊んでおると言やおかしいけど、なかなか開発が進まない現状でございまして……。

先ほど4車線化に伴い利田地区のということでは言われましたけど、あれはあくまでも交差点改良事業でございますので、間違いのないようにお願いします。

それで、あそここのところに、東芦原交差点のちょうど右の角のところに、モンベルという会社が来ます。来年の9月ごろにオープンする予定でございます。この会社は何かといいますと、山岳用品とカヌーを売る店でございまして、たしか全国にあるということでございます。

まず、その建物の背景はいかにかといいますと、東側のところには大きな庭をつくって、中には池をつくって、その隣には建物ですけども、もちろんその建物で軽食喫茶を設けて、池から立山連峰を眺めて癒やしてもらうんだと、そういう施工でございます。

それで、その池、最初、「何、こんなもん、池」と思ったけども、それは防火対策にもなんがですけども、その中にカヌーを浮かべて実体験をってもらうということで、来年の……。それで、その後ろには用品を売るという施設でございまして、この業者は数年かかりまして東京のほうと、この会社を、折衝いたしまして、やっとかつと実ったとい

うことでございますので、何か私とすりゃ、もたもた、もたもたしておるような格好で
ございます。

それと、村長が言われましたけども、いわゆる保育所からオレンジパークの道路は、
拡張せんとそのまま舗装するということに私は聞こえたんですけども、やはりあの線は
大事な路線でございまして、何メートルか道路を拡張してやっぱり皆さんよく歩いても
らいたいと。もし何なら、先ほど環境整備計画で言われましたけども、人口問題も言わ
れましたけども、あそこ一帯を住宅ゾーンにして、民間の開発業者に許可を下して、あ
そこの道路の幅の部分だけを寄附採納してもらおうということも一つの手でしょう。

そしてまた、村の欲しい部分だけを村が分けてもらうという、例えばテニス場からオ
レンジパークの公園までのところが今、26年度、買収に入ると思いますけども、あそ
こに何か施設、例えばパークゴルフ場ひとつするにしても、あそこではなかなかパーク
ゴルフ場ができないような現状でございます。

そしてまた、私が9月に質問しましたイベント広場等々、武道館等々も必要であれば
その地面で確保。また、小学校の駐車場もなかなか狭い。グラウンドの前で車をとめて、
ボールでも当たったら先生の車がどうなるんだと。当初は役場の前でとめるという計画
で、何カ月間かとめていらっしゃったと思いますけども、現在は消防の分遣所の建物を
今施工しているので、なかなかそれも難しいと思います。また、保育所もイベントがあ
ったらなかなか車をとめづらいということで、その分も必要でしょう。

そういうことも考えて、村長は今後どう思うのか、再度質問したいと思います。

よろしくをお願いします。

議長（前原英石君） 副村長 古越邦男君。

副村長（古越邦男君） 山崎議員さんの再質問にお答えをさせていただきます。

県道富山立山魚津線、4車線化ということで説明をしましたが、山崎議員のご指摘の
とおりでございまして、ちょっと誤解の生じる答弁となりましたことをおわびさせてい
ただきたいと思います。

それと、時間がかかっているのではないのかというご質問でございますが、これはい
つもいただいているわけでございますが、あくまで開発事業者さんが進出するというこ
とに向けて、村と一緒に事業に取り組むということでございますが、決して村が
実施主体として事業そのものに取り組むということではございませんので、進出される
方々のご支援ということにつきましては、これまでも取り組みをしてまいったというふ

うに思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

議長（前原英石君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 山崎議員さんの再質問にお答えしたいと思います。

村道東芦原舟橋駅線のことでございますけれども、いろいろと改良といいますか、そのものを構築していく場合に、いろんな検討が私は必要だと思っています。そしてまた、時代的などといいますか、ひとつの流れが私はあると思います。

保育所の今現在の前は、その道路の一部を取り込んであるわけなんです。で、職員も駐車場として使っておる。そしてまた、保護者のほうも、児童の送迎用にここをひっきりなしに通って、朝夕でございますけれども。

それで、私は、後ほどまたいろいろと皆さんとご相談申し上げたいと思うわけですが、ちょっと考えを申し上げますと、保育所の児童で利用されておるといの方は、今まではきらめきの郷の方もおいでになりましたけれども、やはり1年、2年、3年たちますと、年を重ねるといって、今度は小学校へも移るわけでありまして、今現在、芦原のほう、要するにかまてと私は申し上げますけれども、相当少ないことになっておるわけでありまして、そういったことを含めまして、そういった送迎用だけの道路で、規格の13メートルなりの安全性を持った通りとなれば果たしてどうなのかとか、いろんな検討が私は必要だと思っています。

ですから、総合的に環境整備事業計画ともすり合わせながらこういった根本的なことを是正してまいりたいと、こういうふうにしておるわけでありまして、当分の間という語弊がありますがけれども、今現状を見ますと砂利道ということでございますので、何とか歩きやすいように、あるいはまた、軽四のトラックでも十分それに対応できるような道路でありますので、そういった形で、当分、据えつけをして見極めてまいりたいと、そう思うわけであります。

それから、今、開発のことをいろいろとまたおっしゃったわけでありまして、参考にさせていただきたいと思いますが、いずれにいたしましても、これは行政だけで、役場だけでものが進むわけではありません。土地の所有者の関係、いろんな形の皆さんの協力があるものが進むと思います。しかしながら、その前提に立つのは、村民総意といえますか、村の考え方を骨子にした開発計画というのは前提にあるわけでありまして、それを3月までにひとつまとめさせていただきたいと。そして、それを効率よく、何と

いいですか、計画倒れにならんように実行に移してまいりたいと、こういうふうにも思
っておるわけでありまして、副村長が答弁したのは、そういったことも含んであるとい
うこともお考えいただきたいと、このように思いますので、十分、先ほどからご意見
いただいたものを真摯に受けとめてまいりますので、よろしくお願い申し上げたいと、ご
理解いただきたいということを申し上げて、私からの答弁にかえさせていただきます。
よろしくお願いいたします。